

# TOWN わたらせ

第723号 2017年 7月15日 (毎週土曜日発行) 無料配布

タウンわたらせ編集室

安易に虫歯を削ることが、治療の繰り返しにつながり、歯を削れば削るほど、歯の寿命は短くなる、というお話をしました。

では、安易に虫歯を削るとはどういう状況を指すのでしょうか。皆さんは、虫歯が見つかったら出来るだけ早く削って治療した方がいいと思っ

ているのではないのでしょうか？ 私たち歯科医師でさえ、小さな虫歯でも見つけたらすぐに削って治療したほうがいいと信じてきました。以前は早期発見、早期治療こそが虫歯を予防すると大学でも教育され、新たに虫歯になることを予防するためには虫歯になった部分に隣接した健康な部分も削り取ることで予防的な処置だと学問的にも考えられてきたのです。ところがその結果、治療した歯ほど早く失われたという悲しい結果を招くことになりました。予防医療が進んだ現代では初期の虫歯はできるだけ削らない方がいいことがわかってきました。しかし、そ

れでもまだ歯科大では虫歯に隣接した歯の溝も虫歯にならないように削り取る予防拡大という銀歯の形態を歯科医の卵たちに教えています。皆さんのお口の中の銀歯を見てください。虫歯だった部分だけでなく歯の溝があっ



## 日々、つれづれ essay エッセー

「その虫歯、削らないで!! ②」

石井 和浩 (歯科医院院長)

物にしてしまえば、その部分が新しく虫歯になることはありません。しかし結局は銀歯や詰め物とご自分の歯の境目から虫歯菌が侵入し、再び虫歯になるので、銀歯などが脱落した時には、最初に虫歯が出来た部分よりはるかに広範囲に虫歯が広がり、やがて神経を抜くことになるのです。神経を抜いた歯は歯髄から栄養をもらえなくなるので、やがて枯れ木のようにもろくなり、失われる運命となるのです。

しかし、削らないほうがいいのかからといって、虫歯菌に感染した歯質をそのまま残せば、詰め物の中で虫歯は進行します。削らない治療で歯を守るには、最新の技術や機械が必要です。しっかりと治療を受けたのであれば、当日に急患で飛び込むような受診の仕方はおすすりません。事前に予約を入れて、カウンセリングや説明の時間を確保してもらいましょう。

た部分や隣の歯と隣接した部分も含めて詰められているはずですが、銀歯が似たような形をしているのは、このような理由があるので、確かに溝の部分や歯と歯の間を銀歯や詰め